

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科 担任		
保健体育	体育		2年男子		石郷岡 純一		
使用教科書	現代保健体育（大修館）		使用副教材				
科目の目標					道徳教育のねらい		
健康や体力について合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通して、公正・協力・責任などの態度を育て、強健な心身の発達を促して生涯を通して継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。					集団行動や授業準備、実技において、協力や思いやり、安全指導などを通じて道徳心を育てる。		
育てたい6つの力（資質・能力）							
学習活動内容		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	体づくり運動・体力測定		◎	○		◎	○
2	体育理論		○	◎	○		
3	選択種目Ⅰ（バレー・バスケット）	◎	○	○	○		○
4	サッカー	○	○	○			○
5	選択球技（バレー・ソフト・サッカー・卓球）	◎	○		○		○
6	器械運動（マット運動）	○	○	○		○	○
7	バドミントン	○	○	○			○
8	選択Ⅱ（男女混合）	○	○	○	○	○	
評価の観点	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		主体的に学習に取り組む態度	
	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防の展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。また、選択した運動の技能（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。			生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	
評価の方法	各種目における実技テスト、記録・発表会での評価、ペーパーテストによる評価			授業における練習の取組方、ワークシートでの評価		授業の準備・後片付けなどへの協力姿勢、意欲的な取組・グループでの協力姿勢を評価	

2年男子体育 授業計画

授 業 計 画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配置時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前期	4・5月	体づくり運動・スポーツテスト (7)	・授業オリエンテーション、集団行動・集団づくり、補強運動、スポーツテストを実施し自らの体力への理解を深め今後の授業にいかす。	・オリエンテーション(1) ・体づくり運動・スポーツテスト(6)・・・「体ほぐし運動」と「体力を高める運動」を通じて、心と体の状態を把握し仲間とともに運動に親しむための基礎を養う。		
	5月 6月 7月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・スポーツの技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習 (各1h)		
	5月 6月	選択Ⅰ(10)	・「バレーボール」、「バスケットボール」から選択し実施する。技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・班編制、練習計画の作成(1) ・グループ練習の取り組み(4) ・ゲーム形式、スキルテスト(5)		
	7月 8月 9月	サッカー(10)	・基本技術の習得(ドリブル、パス、シュートなど)のための練習を行い、ゲーム形式を実施する。技能向上を目指す姿勢と仲間との協力する姿勢を養う。	・基本技術習得のための練習(2) ・グループ技能を高める練習(2) ・ゲーム形式(6)		
	9月	選択種目Ⅰ(3)	・球技大会で実施する・「バレー」、「ソフト」、「サッカー」、「卓球」から種目を選択し、技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。	・球技大会種目の練習(3)		
後期	10月 11月	器械運動(10)	・マット運動の技術の習得のための練習を行い、規定動作を実践する。技能向上を目指す姿勢と仲間との協力する姿勢、安全に運動に取り組む姿勢を養う。	・基本技術習得のための練習(2) ・規定技能の練習(7) ・実技テスト(1)		
	10月 11月 12月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・効果的な動きのメカニズム ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全確保 (各1h)		
	11月 12月	バドミントン(10)	・シングルス、及びダブルスのルールでの実施。基本技術の習得とともに、競技のルールなどを理解し、試合形式で実践力を身につける。	・基本技術の練習(3) ・実践的な練習(2) ・試合形式(5)		
	1月 2月 3月	選択種目Ⅱ男女混合(9)	・「卓球」「テニボン」「ソフトバレー」から1種目を選択し実施する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・基本技術習得のための練習(2) ・グループ技能を高める練習(2) ・ゲーム形式(5)		

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科 担任	
保健体育	体育	2	2年女子			磯部 尚志・池田 靖秋	
使用教科書	現代保健体育（大修館）			使用副教材			
科目の目標					道徳教育のねらい		
健康や体力について合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通して、公正・協力・責任などの態度を育て、強健な心身の発達を促して生涯を通して継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。					集団行動や授業準備、実技において、協力や思いやり、安全指導などを通じて道徳心を育てる。		
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	体づくり運動・体力測定		◎	○		◎	○
2	体育理論		○	◎	○		
3	(ソフト) テニス	○	○	○			○
4	選択種目Ⅰ (バレー・バスケット)	◎	○	○	○		○
5	選択球技 (バレー・サッカー・卓球・バド)	◎	○		○		○
6	バドミントン	○	○	○			○
7	ダンスⅡ	◎	○	○	○		○
8	選択Ⅱ (男女混合)	○	○	○	○	○	
評価の観点	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		主体的に学習に取り組む態度	
	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防の展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。また、選択した運動の技能（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。			生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	
評価の方法	各種目における実技テスト、記録・発表会での評価、ペーパーテストによる評価			授業における練習の取組、ワークシートでの評価		授業の準備・後片付けなどへの協力姿勢、意欲的な取組・グループでの協力姿勢を評価	

2年女子体育 授業計画

授 業 計 画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配置時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4・5月	体づくり運動・スポーツテスト (7)	・授業オリエンテーション、集団行動・集団づくり、補強運動、スポーツテストを実施し自らの体力への理解を深め今後の授業にいかす。	・オリエンテーション(1) ・体づくり運動・スポーツテスト(6)・・・「体ほぐし運動」と「体力を高める運動」を通じて、心と体の状態を把握し仲間とともに運動に親しむための基礎を養う。		
	5月 6月 7月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・スポーツの技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習 (各1h)		
	6月 7月	(ソフト) テニス(10)	・基本技術の練習(サーブ・ラリー・ボレーなど)と技術向上をはかり試合ができることを目標にする。試合を通して競技ルールを理解する。	・基本技術習得のための練習(4) ・試合形式(6)		
	7月 8月 9月	選択Ⅰ(10)	・「バレーボール」、「バスケットボール」から選択し実施する。技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・班編制、練習計画の作成(1) ・グループ練習の取り組み(4) ・ゲーム形式、スキルテスト(5)		
	9月	選択種目Ⅰ(3)	・球技大会で実施する。「バレー」、「サッカー」、「卓球」、「バドミントン」から種目を選択し、技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。	・球技大会種目の練習(3)		
後 期	10月 11月	バドミントン(10)	・シングルのルールでの実施。基本技術の習得とともに、競技のルールなどを理解し、試合形式で実践力を身につける。	・基本技術の練習(2) ・実践的な練習(2) ・試合形式(6)		
	10月 11月 12月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・効果的な動きのメカニズム ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全確保 (各1h)		
	11月 12月	ダンスⅡ(10)	・グループでダンスを創作、練習し発表する。 ・発表会を通して、自分の演技と他の者の演技を比較し互いに評価する。 ・グループ活動での積極的な取り組み、協調性と表現力を養う。	・ダンスの創作活動(8) ・ダンス発表(1) ・振り返り学習(1)		
	1月 2月 3月	選択種目Ⅱ男女混合(9)	・「卓球」「テニポン」「ソフトバレー」から1種目を選択し実施する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・基本技術習得のための練習(2) ・グループ技能を高める練習(2) ・ゲーム形式(5)		